

3

「手づくり自治区」とは—具体的なイメージ—

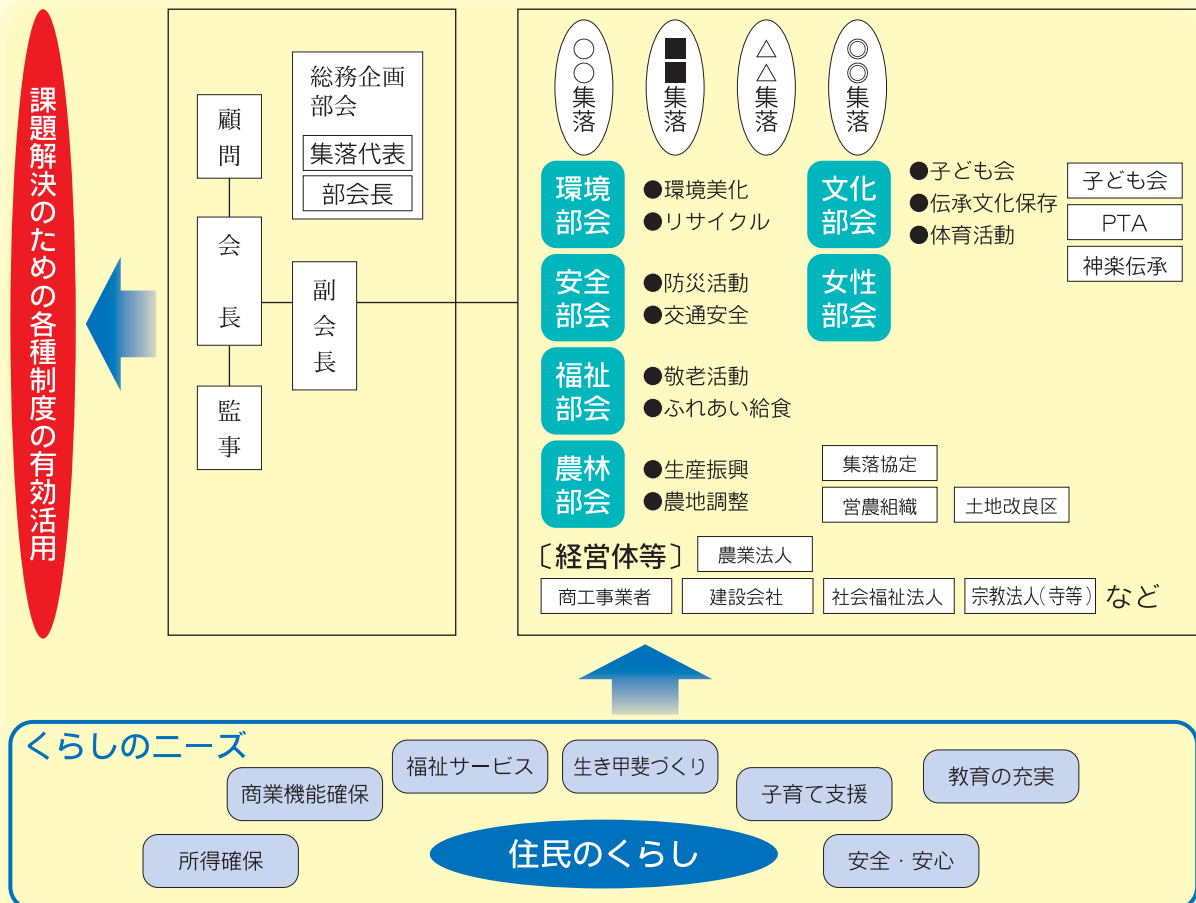
「手づくり自治区」の先駆的な取組は、すでに県内外で開始されています。

地域の維持・活性化という目標を達成するために、地域の実情に即した取組が何よりも重要ですが、先駆的な取組には、その組織形態や運営方法等の共通する特徴が見られます。

〈1〉手づくり自治区の組織イメージ

- 住民の「暮らし」から発生する課題は、様々であり、相互に関連している分野も多く「地域のことをできるだけ地域で解決するための活動」を総合的に進める必要があります。
- このため、「手づくり自治区」では、環境部会、福祉部会、農林部会など、生活や生産の分野にわたった幅広い部会を設けている事例が見られます。

◎総合的な活動をするための組織イメージ



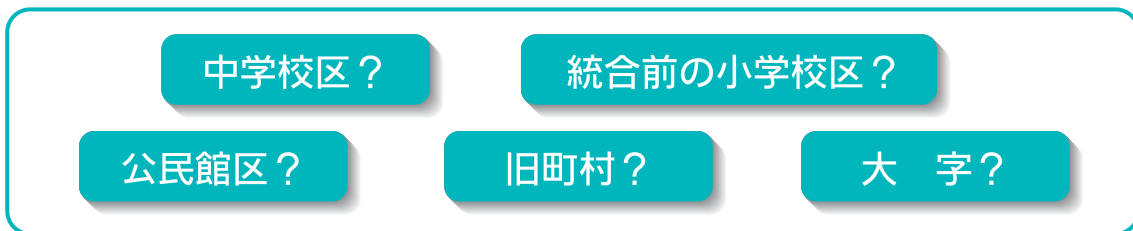
地域内に存在する各種の団体や組織が、連携を図りながら、各種の制度を効果的に活用し、地域課題の解決を図る

〈2〉手づくり自治区のエリア設定

- 手づくり自治区の地区範囲は、それぞれの市町の方針に沿いながら、各地域の成り立ち、実情や組織目的に応じた設定が重要であり、その多くは、「統合前の小学校区」や「大字」、「旧町村（昭和25年）」など、生活面や生産面で一定のつながりがあり、活動体として、まとめることが可能な範囲が設定されています。

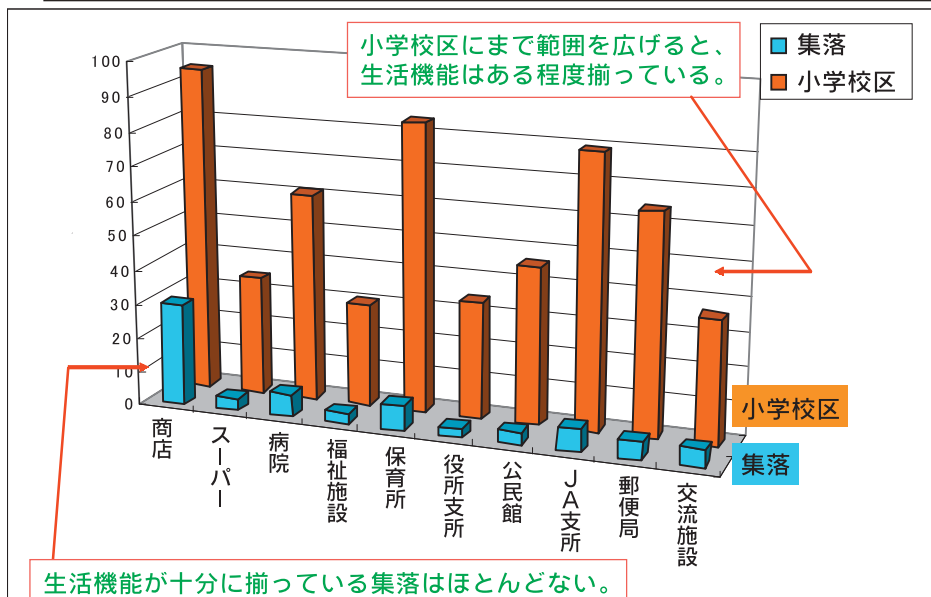
◎地区範囲の設定に当たってのポイント

- ① 一定の人的資源や生活機能を確保できる範囲（閉塞感がない）
- ② 愛着を感じられる範囲（まとまり感がある）
- ③ その圏域を実感・体感できる範囲（手ざわり感がある）



【参考】 ○ 基本的な生活機能を確保できる範囲

基本的な生活機能は小学校区単位で揃っている

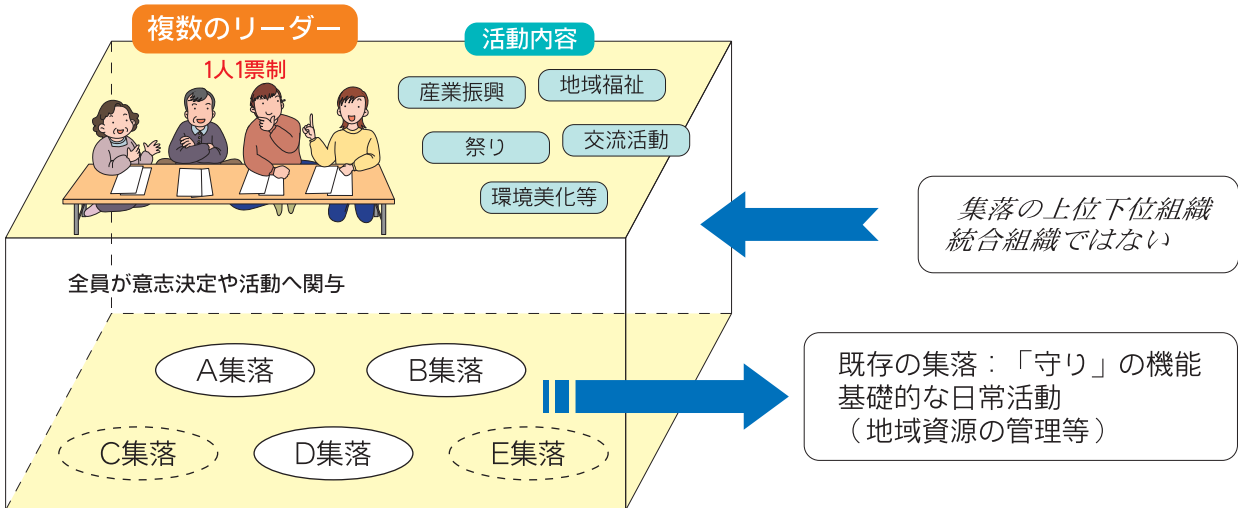


「島根県中山間地域研究センター」平成10年度集落詳細調査より

〈3〉手づくり自治区と集落との関係

■「手づくり自治区」は、複数の集落で構成する組織ですが、集落を統合したり、集落の役割や機能を全て代替するものではなく、それぞれの集落との役割分担をしながら、総合的、広域的に地域づくりを進める組織として運営されています。

1 「集落を超える組織」で「集落と機能を分担する二層立の組織」です。



※将来的には、長い期間をかけて集落機能の一部が「手づくり自治区」に移行することがあり得ますが、直ちにそのようなことにはなりません。

2 集落の活動を尊重し、それを補完する組織として運営しています。

項目	区分	集 落	手づくり自治区
活動内容	守りの機能	基礎的な日常生活を行う組織	攻めの機能
	※ムラ仕事		集落・自治区で解決が難しい課題や広域的に実施した方が効率的な課題を集落が連携して解決など新たな活動を行う組織 ※プロジェクト活動
関 係			集落の統合組織・上位組織ではない別組織
成り立ち		世帯（いえ）の集まり	住民個々（ひと）の集まり
運 営		戸主（男性・年配者）中心の合意形成	女性・若者・子ども等にも活躍の場、意志決定へ参加を保証
		代表者の持ち回り 高齢化により不足するリーダー	リーダー群の確保と責任ある運営
		全戸一致（合意）の原則	部会活動等による展開、個人個人が参加しやすくなるしくみ

資料）中国地方中山間地域振興協議会